

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

受験番号兼申請番号	医・歯・技
-----------	-------

(この上の欄には記入しないで下さい)

西暦 20 年 月 日

症例番号	5
------	---

医療機関： 病院 睡眠医療センター

ID番号： 53歳 女性 無職

主訴および主症状：寝つけない。両下肢のむずむず感。

診断：むずむず脚症候群・周期性四肢運動障害の合併。

既往歴：高血圧、糖尿病、ならびに腎不全。1年前から人工透析治療中。

現病歴：1年程前から夜間に中途覚醒があり、熟睡感なく昼間の眠気がある。週に2回ぐらいだが、下肢のむずむず感が夕方から増悪し、就寝時に寝付けず、マッサージをしたり歩き回ったりすると少し楽になる。最近は安静時にも下肢のむずむず感がひどくなり、他院の紹介により睡眠障害の精査の目的で来院した。

家族歴：特記事項なし。

心身の一般的所見：

心拍数 72 拍/分、不整なし、血圧 110/80mmHg、身長 158cm、体重 54Kg、BMI 21.6 kg/m²、ESS 14/24 点、糖尿病による低血糖症状などなし。

臨床検査成績：

入院時血圧は 112 / 78 mmHg。

採血による検査成績は RBC 345 万/μl、WBC 5800/μl、Hgb 9.8g/dl、Plt 22.2 万/μl、fib 586mg/dl、AST 19 IU/l、ALT 8 IU/l、K 4.0mEq/l、Fe 36mg/dl、T-cho 176mg/dl、TG 225mg/dl、HDL 33mg/dl、Glu 122mg/dl、IRI 17.4 μl/ml、HbA1c 7.4%、UN 55.6mg/dl、UA 7.1mg/dl、Cre 9.24mg/dl であった。

心電図は左室肥大の疑い。

入院時 P S G の成績 (表 1)

睡眠状態は TIB 428.5 分(7 時間 8.5 分)、SPT 419 分(6 時間 59 分)、TST 380.5 分(6 時間 20 分)、睡眠効率 88.8%、入眠後の覚醒時間 38 分(9.2%)、入眠潜時 25.5 分、REM 潜時 64.5 分、NREM 睡眠 79.2%、REM 睡眠 20.8% であった。睡眠中の呼吸状態は AHI 2.5 回/時間で、無呼吸は閉塞性 2 回、中枢性 0 回、低呼吸 14 回を認めるのみであった。末梢血酸素飽和度(SpO₂)は平均 99%、最低が 90% であった。その他 arousal 351 回 (index: 55.3 回/時間)、PLMs は 511 回 (index: 80.6 回/時間)、うち PLM (with arousal) index は 44.8 回/時間であった。

鑑別診断：

腎機能障害、糖尿病、高血圧症状が疑われるがすでに他院で治療中である。

不眠があり、下肢のむずむず感が夕方に増悪すること、PLM (with arousal) index は 44.8 回/時間と高値なため、周期性四肢運動を伴うむずむず脚症候群と診断した。慢性腎不全のため人工透析で治療中であり、血清鉄は低く、腎性貧血があるため症状が増悪したと考えられた。

治療方法：

腎機能に注意しながら少量のドーパミン製剤経口投与による治療を開始した。

治療効果を含めた経過：

薬物療法によって下肢の症状及び入眠障害の症状が著しく軽減した。

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

症例番号	5
------	---

--

上記の症例に関する診療あるいは検査および報告書作成を指導したことを確認します。
西暦 年 月 日 学会認定医,学会認定歯科医,学会認定検査技師
(学会認定証の番号:)
所属診療科の長(該当する事項を 印で囲って下さい)
医療機関と診療料名および職名 大学附属病院 睡眠医療センター 部長
氏名 印

審査員のコメント

審査結果：合格,保留,不合格	担当審査員の氏名
----------------	----------